

皮膚病態学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Otsuka M, Koga T, Sumiyoshi R, Koike Y, Furukawa K, Okamoto M, Endo Y, Tsuji S, Takatani A, Shimizu T, Igawa T, Kawashiri SY, Iwamoto N, Ichinose K, Tamai M, Nakamura H, Origuchi T, Daisuke N, Kawakami A: A case of neutrophilic dermatosis with MEFV gene variant and abnormal activation of peripheral blood monocytes: a case report. *Immunol Med*, 42(1): 45-49, 2019
2. Kamitani T, Murota H, Arase N, Wataya-Kaneda M, Sato-Nishiuchi R, Sekiguchi K, Okuzaki D, Motooka D, Katayama I: Expression of polydome in dermal neurofibroma and surrounding dermis in von Recklinghausen's disease. *J Dermatol Sci*, 96(2): 73-80, 2019 (IF:3.986)
3. Iozumi K, Abe M, Ito Y, Uesugi T, Onoduka T, Kato I, Kato F, Kodama K, Takahashi H, Takeda O, Tomizawa K, Nomiyama T, Fujii M, Mayama J, Muramoto F, Yasuda H, Yamanaka K, Sato T, Oh IT, Kasai H, Tsuboi R, Hattori N, Maruyama R, Omi T, Shimoyama H, Sei Y, Nakasu I, Nishimoto S, Hata Y, Mochizuki T, Fukuzawa M, Seishima M, Sugiura K, Katayama I, Yamamoto O, Shindo M, Kiryu H, Kusuhara M, Takenaka M, Watanabe S: Efficacy of long-term treatment with efinaconazole 10% solution in patients with onychomycosis, including severe cases: A multicenter, single-arm study. *J Dermatol*, 46(8): 641-651, 2019 (IF:3.377)
4. Koike Y, Fujiki Y, Higuchi M, Fukuchi R, Kuwatsuka S, Murota H: An interleukin-17 inhibitor successfully treated a complicated psoriasis and psoriatic arthritis patient with hepatitis B virus infection and end-stage kidney disease on hemodialysis. *JAAD Case Rep*, 5(2): 150-152, 2019
5. Higuchi M, Kuwatsuka Y, Murota H, Iwanaga M, Niino D: Clinical and histopathological significance of PD-1 expression in cutaneous lesions of adult T-cell leukemia-lymphoma. *Pathol Res Pract*, 215(1): 40-49, 2019 (IF:1.794)
6. Kuwatsuka Y, Murota H: Involvement of Periostin in Skin Function and the Pathogenesis of Skin Diseases. *Adv Exp Med Biol*, 1132:89-98, 2019 (IF:2.126)
7. Murota H, Azukizawa H, Katayama I: Impact of Jumihaidokuto (Shi-Wei-Bai-Du-Tang) on treatment of chronic spontaneous urticaria: A randomized controlled study. *Chin J Integr Med* 25(11): 820-824, 2019 (IF:1.445)

A-b

1. Murota H, Yamaga K, Ono E, Murayama N, Yokozeki H, Katayama I: Why does sweat lead to the development of itch in atopic dermatitis? *Exp Dermatol*, 28(12): 1416-1421, 2019 (IF:2.868)
2. Katoh N, Ohya Y, Ikeda M, Ebihara T, Katayama I, Saeki H, Shimojo N, Tanaka A, Nakahara T, Nagao M, Hide M, Fujita Y, Fujisawa T, Futamura M, Masuda K, Murota H, Yamamoto-Hanada K: Clinical practice guidelines for the management of atopic dermatitis 2018. *J Dermatol*, 46(12): 1053-1101, 2019 (IF:3.377)

B 邦文

B-a

1. 鍼塚さやか, 室田浩之: 【"わけのわからない痒み"管理マニュアル】抗ヒスタミン薬無効時の痒みの内服療法. *Derma*, 28(3): 33-40, 2019
2. 室田浩之: 【痒疹って、何?】 (Part2)これも痒疹? 診断に迷う症例(case1) これも結節性痒疹? *Visual Dermatology*, 18(2): 156-160, 2019
3. 根井悠里江, 室田浩之: 【痒疹って、何?】 (Part4)痒疹の治療 こんなときのコツ(治療 7) こんなときの痒み対策. *Visual Dermatology*, 18(2): 204-206, 2019
4. 竹中 基: *Microsporium canis* による皮膚真菌症. *医薬の門*, 59(5-6): 163-165, 2019
5. 吉岡佐千佳, 大西 愛, 橋本邦生, 大園恵梨子, 森内浩幸, 北山 素, 松島加代子, 本多 舞, 竹中 基, 林 健太郎, 安倍 邦子, 福岡順也: 結節性紅斑のみが先行した小児 Crohn 病の 1 例. *長崎医学会雑誌*, 94(1): 47-52, 2019
6. 日本皮膚科学会皮膚真菌症診療ガイドライン改訂委員会, 望月 隆, 坪井良治, 五十棲 健, 石崎純子, 牛上 敢, 小川 祐美, 金子健彦, 河井正晶, 北見由季, 楠原正洋, 幸野 健, 佐藤俊樹, 佐藤友隆, 下山陽也, 竹中 基, 田邊 洋, 辻 学, 常深祐一郎, 畑 康樹, 原田和俊, 福田知雄, 松田哲男, 丸山隆児: 日本皮膚科学会皮膚真菌症診療ガイドライン 2019. *日本皮膚科学会雑誌*, 129(13): 2639-2673, 2019
7. 室田浩之, 田原真由子, 高橋 彩, 片山一朗: アトピー性皮膚炎および皮脂欠乏症患者を対象とした入浴・洗浄習慣の実態調査. *日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌*, 2(2): 304-309, 2019
8. 村山直也, 福地麗雅, 鍼塚 大, 大仁田亜紀, 室田浩之: アポクリン色汗症を疑った一例. *発汗学*, 26(2): 56-58, 2019
9. 村山直也, 室田浩之: 【変わりつつあるアトピー性皮膚炎の常識-最新の知識と治療の極意】(第 I 章)最新の知識 病態の新しい考え方 汗の関与. *皮膚科の臨床*, 61(6): 748-753, 2019

10. 芦塚賢美, 小池雄太, 竹中 基, 小川文秀, 宇谷厚志, 室田浩之: 【色のついた皮膚病《赤》】臨床例 BCG 接種後に発症した腺病性苔癬. 皮膚病診療, 41(10): 937-940, 2019
11. 室田浩之, 小野慧美, 山賀康右, 村山直也, 片山一朗: 【最近のトピックス 2019 Clinical Dermatology 2019】皮膚疾患の病態 汗と皮膚疾患の関わり. 臨床皮膚科, 73(5): 59-62, 2019
12. 大園恵梨子, 橋本邦生, 佐々木理代, 林田拓也, 西口奈菜子, 里 龍晴, 森内浩幸, 根井悠里江, 室田浩之, 黒田揮志夫, 二口 充, 福岡順也, 鈴木貴久: クレアチンキナーゼ上昇所見を欠き筋炎特異抗体陰性で、診断が遅れた若年性皮膚筋炎の1例. 長崎医学会雑誌, 94(3): 159-164, 2019
13. 正 百合子, 山手朋子, 酒井貴史, 生野知子, 石川一志, 竹尾直子, 藤原作平, 安西三郎, 竹中 基, 宇谷厚志, 西本勝太郎, 亀井克彦, 安澤数史, 望月 隆, 波多野 豊: Trichophyton verrucosum 感染症の2例 いわゆる生毛部急性深在性白癬と小児のケルスス禿瘡. 西日本皮膚科, 81(6): 517-522, 2019

B-b

1. 室田浩之: 乾皮症の臨床と広がるスキンケアの可能性. Bella Pelle, 4(3): 201-204, 2019
2. 室田浩之 (編集): 【アレルギー疾患の社会的損失とその対策】序文. Progress in Medicine, 39(453-454), 2019
3. 竹中 基: 【アレルギー疾患の社会的損失とその対策】アトピー性皮膚炎治療の現状と社会的損失. Progress in Medicine, 39(5): 455-458, 2019
4. 室田浩之: 【フレッシューズ特集:はじめようアレルギー診療!】(Part2)皮膚アレルギー診療のABC (総説9)汗とアレルギー. Visual Dermatology, 18(4): 404-411, 2019
5. 市来 滯, 竹中 基, 室田浩之: 【疥癬バスターズ 2019 疥癬はなぜ根絶できないのか?】(Part3)どう診断して治療するか、そして予防は?(治療9) 疥癬治癒判定、経過観察の実際. Visual Dermatology, 18(8): 826-830, 2019
6. 室田浩之: 【専門医のためのアレルギー学講座 エキスパートが選ぶトピックス 2018】アトピー性皮膚炎:痒みの病態理解と分子標的治療の進歩. アレルギー, 68(7): 815-822, 2019
7. 神尾芳幸, 室田浩之: 【新薬展望 2019】(第 III 部)治療における最近の新薬の位置付け<薬効別> 新薬の広場 抗アレルギー薬. 医薬ジャーナル, 55(増刊): 365-369, 2019
8. 岩永 聡, 小池雄太, 室田浩之: 【内科医のための皮膚疾患アトラス-日常診療における部位別皮疹の診かた-】(Part 2) 症例 皮疹(皮膚所見)からの診断と治療へのアプローチ<部位別> 頸部 首の白いぶつぶつ. 診断と治療, 107(Suppl.): 136-137, 2019
9. 竹中 基: 【内科医のための皮膚疾患アトラス-日常診療における部位別皮疹の診かた-】(Part 2)症例 皮疹(皮膚所見)からの診断と治療へのアプローチ<部位別> 顔 治りにくい顔の赤いしこり. 診断と治療, 107(Suppl.): 88-89, 2019
10. 岩永 聡, 小池雄太: 【指定難病ペディア 2019】個別の指定難病 皮膚・結合組織系 弾性線維性仮性黄色腫[指定難病 166]. 日本医師会雑誌, 148(特別 1): S146-S147, 2019
11. 富村沙織, 室田浩之: スキルアップのための Q&A アトピー性皮膚炎のかゆみをコントロールするコツを教えてください. 皮膚アレルギーフロンティア, 17(1): 56, 2019
12. 室田浩之: 【夏に多い疾患の診療】皮膚疾患 接触皮膚炎. 臨床と研究, 96(7): 808-811, 2019
13. 竹中 基: 長崎県島嶼地域を対象とした遠隔医療～長崎大学皮膚科における 8K 技術を利用した遠隔診療の経験. 日本臨床皮膚科医会雑誌 36(6): 756-757, 2019

B-c

1. 室田浩之: 【痒みに対するアプローチ】新薬は従来の治療に掛けていた…をどのように補完できるのか. エビデンスに基づくアトピー性皮膚炎治療, 梶島健治, 宮地良樹 eds, 中山書店(東京), 2019, pp174-190
2. 室田浩之: 汗は出なくなるか～発汗の変化. ここが大事! 高齢者皮膚診療のコツとピットフォール, 戸倉新樹, 秋山真志 eds, 南江堂(東京), 2019, pp27-28
3. 室田浩之: ホットトピックス A.アトピー性皮膚炎 汗対策は? こどもの皮膚のみかた: 皮膚科・小児科の専門医がやさしく教える: すべての医師・メディカルスタッフのために, 大嶋勇成, 宮地良樹 eds, 診断と治療社(東京), 2019, pp16-20
4. 竹中 基: II 皮膚外用薬の上手な使い方 16 カンジダ症. みんなの皮膚外用薬, 常深祐一郎 eds, 南江堂(東京), 2019, pp132-134
5. 竹中 基: II.皮膚外用薬の上手な使い方 17.癬風, マラセチア毛包炎. みんなの皮膚外用薬, 常深祐一郎 eds, 南江堂(東京), 2019, pp135-137

6. 室田浩之: I 皮膚外用薬のキホン C 薬剤の種類と特徴を知る 4 保湿薬. みんなの皮膚外用薬, 常深祐一郎 eds, 南江堂(東京), 2019, pp36-40
7. 室田浩之: アトピー性皮膚炎. 看護学テキスト NiCE 病態・治療論 [11] 皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患, 片山一朗, 阪上雅史, 五味文, 岸本裕充 eds, 南江堂(東京), 2019, pp40-42
8. 室田浩之: 汗疱、あせも、わきが、多汗症. 今日の治療指針: 私はこう治療している 2019, 福井次矢/総編集, 高木誠/総編集, 小室一成/総編集 eds, 医学書院(東京), 2019, pp1292-1294
9. 室田浩之: 虫刺され、ストロフルス、痒疹. 今日の処方 (改訂第 6 版), 編集, 浦部晶夫, 編集, 島田和幸, 編集, 川合眞一 eds, 南江堂(東京), 2019, pp641-642
10. 室田浩之: 発汗/アトピー性皮膚炎. 最新キーワードで読み解く ALL About 皮膚科学, 宮地良樹 eds, メディカルレビュー社(東京), 2019, pp114-115

B-d

1. 室田浩之、神尾芳幸: 長崎県油症認定患者におけるセマフォリン 7A (Sema7A) の検討. 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究 (厚生労働行政推進調査事業費食品の安全確保推進研究事業) 平成 30 年度 総括・分担研究報告書. pp.79-81, 2019.
2. 室田浩之、竹中 基、富村沙織: 油症認定患者における soluble IL-13 の検討. 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究 (厚生労働行政推進調査事業費食品の安全確保推進研究事業) 平成 30 年度 総括・分担研究報告書. pp.82-85, 2019.

B-e

1. 外村香子, 阿古目 純, 青山礼華, 林 美沙, 中川幸延, 室田浩之, 片山一朗, 藤本 学: ステロイド抵抗性を示し, 放射線治療とシクロスポリン内服併用が奏功した木村病の 1 例. アレルギー, 68(4-5): 595, 2019
2. 本多 舞, 竹中 基, 青柳 潔, 富田義人, 有馬和彦, 瀧原圭子, 室田浩之: 大学新生を対象とした口腔アレルギー症候群の後方視的実態調査. アレルギー, 68(4-5): 598, 2019
3. 竹中 基: 爪白癬の診療経験. 西日本皮膚科, 81(3): 231, 2019
4. 小池雄太, 与崎マリ子, 鋤塚 大, 宇谷厚志, 室田浩之: Bowen 病の多段階的上皮間葉転換プロセス. 西日本皮膚科, 81(3): 242, 2019
5. 富野千愛, 村山直也, 鋤塚 大, 室田浩之, 藤原洗平, 今村禎伸, 黒田揮志夫, 福岡順也: Endocrine mucin producing sweat gland carcinoma の 1 例. 西日本皮膚科, 81(3): 244, 2019
6. 岩永 聡, 鋤塚 大, 清原龍士, 松下泰三, 室田浩之: メルケル細胞癌との鑑別を要した多発性骨髄腫の 1 例. 西日本皮膚科, 81(3): 247, 2019
7. 渡辺千秋, 村山直也, 岩永 聡, 泉 健太郎, 西江 涉, 西本勝太郎, 竹中 基: 全長BP180 ELISA 法で診断が確定した DPP4 阻害薬関連水疱性類天疱瘡の 1 例. 西日本皮膚科, 81(4): 325, 2019
8. 山本千愛, 神尾芳幸, 小池雄太: 抗菌薬の予防内服が有効である再発性蜂窩織炎の 1 例. 西日本皮膚科, 81(4): 325, 2019
9. 岩永 聡, 小池雄太, 郡家佑美, 鋤塚 大, 宇谷厚志: PXE 診療ガイドラインの公表. 西日本皮膚科, 81(4): 326, 2019
10. 小池雄太, 岩永 聡, 郡家佑美, 宮副治子: 弾性線維性仮性黄色腫類似の皮膚疾患. 西日本皮膚科, 81(4): 326, 2019
11. 根井悠里江, 小池雄太, 藤樹祐未, 竹中基, 辻創介: 皮膚筋炎様の非定型疹を呈した成人 Still 病の 1 例. 西日本皮膚科, 81(4): 326, 2019
12. 藤樹祐未, 本多 舞, 吉見公佑, 神尾芳幸, 鋤塚 大, 芦塚賢美, 室田浩之: HPV16 陽性の肛囲 Bowen 病の 1 例. 西日本皮膚科, 81(4): 327, 2019
13. 渡辺千秋, 小池雄太, 富村沙織, 竹中 基, 西本勝太郎, 江藤 良, 室田浩之: 陰部に腐生真菌を認めた calciphylaxis の 1 例. 西日本皮膚科, 81(4): 327, 2019
14. 江原大輔, 富村沙織, 福地麗雅, 小池雄太, 芦田美輪, 樋口真帆, 室田浩之: Lupus profundus の 4 例. 西日本皮膚科, 81(4): 328, 2019
15. 室田浩之: 発汗異常の臨床と当院における発汗外来の紹介. 西日本皮膚科, 81(4): 328, 2019
16. 金子 栄, 澄川靖之, 室田浩之, 田原真由子, 森田栄伸: 島根大、札幌医大における成人アトピー性皮膚炎患者のストレスコーピングのアンケート調査. 西日本皮膚科, 81(4): 329, 2019
17. 壽 順久, 田中麻理, 林 美沙, 室田浩之, 片山一朗, 金田眞理: Harlequin 症候群の 1 例. 西日本皮膚科, 81(4): 330,

2019

18. 福地麗雅, 鍬塚さやか, 富野千愛, 本多 舞, 鍬塚 大, 室田浩之, 塚崎直子, 藤岡真知子, 宮崎泰司: ピロリ菌除菌中に生じた薬疹より診断に至った後天性血栓性血小板減少性紫斑病の1例. 西日本皮膚科, 81(4): 331, 2019
19. 富村沙織, 渡辺千秋, 富野千愛, 村山直也, 岩永 聰, 室田浩之, 田中洋一: EDA 遺伝子変異を認めた低汗性外胚葉形成不全症の1例. 西日本皮膚科, 81(4): 332, 2019
20. 竹中 基: 2018年の学会発表症例報告. 西日本皮膚科, 81(4): 333, 2019
21. 小池雄太, 鍬塚 大, 原 肇秀, 室田浩之: 2018年長崎大皮膚科入院患者のまとめ. 西日本皮膚科, 81(4): 333, 2019
22. 峰 隆明, 村山直也, 藤樹祐未, 江原大輔, 岩永 聰, 竹中 基, 室田浩之: スルファジアジン銀クリームによるアレルギー性接触皮膚炎の1例. 西日本皮膚科, 81(4): 333, 2019
23. 松村一騎, 太田祐樹, 牟田久美子, 北村峰昭, 山下 裕, 小畑陽子, 望月保志, 森寄仁美, 室田浩之, 西野友哉: 免疫チェックポイント阻害薬により急性腎障害をきたした一例. 日本透析医学会雑誌, 52(Suppl.1): 417, 2019
24. 室田浩之: 汗を味方にするアトピー性皮膚炎治療. 日本発汗学会総会プログラム・抄録集, 27回: 21, 2019
25. 村山直也, 福地麗雅, 鍬塚 大, 室田浩之, 大仁田亜紀: Apocrine-chromhidrosis を疑った1例. 日本発汗学会総会プログラム・抄録集, 27回: 33, 2019
26. 岩永 聰, 鍬塚大 , 安倍邦子, 新井栄一, 室田浩之: Spitzoid melanoma との鑑別に苦慮した Atypical Spitz nevus の1例. 日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会プログラム・抄録集, 35回: 112, 2019
27. 室田浩之: アトピー性皮膚炎の長期寛解維持につながる患者指導を考える. 日本皮膚科学会雑誌, 129(4): 582, 2019
28. 室田浩之: 乾皮症の臨床と広がるスキンケアの可能性. 日本皮膚科学会雑誌, 129(5): 1121, 2019
29. 鍬塚 大, 原 肇秀, 富野千愛, 本多 舞, 神尾芳幸, 室田浩之: DLBCL 治療後、外傷を契機に発生したカポジ肉腫の1例. 日本皮膚科学会雑誌, 129(5): 1162, 2019
30. 原 肇秀, 藤樹裕未, 芦塚賢美, 福地麗雅, 室田浩之: Semicircular lipoatrophy の1例. 日本皮膚科学会雑誌, 129(5): 1206, 2019
31. 根井悠里江, 富野千愛, 富村沙織, 室田浩之, 堀 眞, 三島致行: 片側に拡大し発汗異常を認めた Tufted angioma の1例. 日本皮膚科学会雑誌, 129(5): 1223, 2019
32. 村山直也, 室田浩之: 汗腺機能と皮膚疾患. 日本皮膚科学会雑誌, 129(5): 993, 2019
33. 倉田隆一郎, 藤田郁尚, 岡田文裕, 二木杉子, 中野伊津子, 種村 篤, 室田浩之, 片山一郎, 関口清俊: ヒト汗腺の構造と再生. 日本皮膚科学会雑誌, 129(5): 993, 2019
34. 鍬塚 大, 岩永 聰, 室田浩之, 吉見公佑, 大石正雄, 田中克己: 鼻尖部基底細胞癌における深部の切除範囲について. 日本皮膚外科学会誌, 23(1): 36-37, 2019
35. 室田浩之: Oldest New Evidences アトピー性皮膚炎病態形成におけるヒスタミンの役割. 日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌, 3(1): 168, 2019
36. Murakami Y, Wataya-Kaneda M, Kitayama K, Arase N, Murota H, Hirayasu K, Arase H, Katayama I: Heightened BRAF and BRAF pseudogene expression levels in 2 Japanese patients with Erdheim-Chester disease. 日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌, 3(1): 173, 2019
37. 本多 舞, 竹中 基, 室田浩之: アトピー性皮膚炎 デュピルマブ投与による発汗量の変化の検討. 日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌, 3(1): 187, 2019
38. 早稲田朋香, 本多 舞, 富村沙織, 竹中 基, 室田浩之: Acute Generalized Exanthematous Pustulosis(AGEP)の2例. 日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌, 3(1): 213, 2019
39. 金子 栄, 中原剛士, 室田浩之, 片岡葉子, 各務竹康, 加藤則人: 医師に対するアトピー性皮膚炎の診療実態調査について. 日本皮膚免疫アレルギー学会雑誌, 3(1): 218, 2019
40. 室田浩之: 汗を味方にするアトピー性皮膚炎治療 汗でアトピー性皮膚炎が悪化する理由(わけ). 日本臨床皮膚科医学会雑誌, 36(2): 234, 2019
41. Arase N, Odomari K, Kotobuki Y, Tsuji H, Sasai R, Hirano T, Yorifuji H, Tonomura K, Katayama I, Murota H, Jin H, Ohmura K, Kumanogoh A, Arase H, Fujimoto M: Analysis of autoantibody against Ro52/IgG/HLA-DR complex in patients with dermatomyositis. 日本研究皮膚科学会年次学術大会・総会プログラム, 44回: 204, 2019
42. Koike Y, Yozaki M, Murota H: Fibroblast growth factor 2 enhances epithelial mesenchymal transition on keratinocytes during

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
3	1	9	8	6	35

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
室田浩之・教授	油症対委員会委員	長崎県
室田浩之・教授	油症研究班班長	長崎県
室田浩之・教授	長崎県アレルギー疾患医療連絡協議会委員	長崎県
室田浩之・教授	理事	日本研究皮膚科学会
室田浩之・教授	理事	日本皮膚免疫アレルギー学会
室田浩之・教授	副理事長	日本発汗学会
室田浩之・教授	Board member	International Forum for Study of Itch
室田浩之・教授	評議員	日本乾癬学会
室田浩之・教授	Section editor	Allergology International
竹中 基・准教授	評議員	日本皮膚免疫アレルギー学会
竹中 基・准教授	指定難病審査会委員	長崎県

○教室における社会活動について

- ①カネミ油症の診断、治療の改善を目的とした厚生労働省の食品の安全確保推進研究事業（カネミ油症に関する研究）に参加し、下記の協力を行っている。
- ・油症検診：昭和43年以来、毎年1回長崎県下各地での検診を行っている。
 - ・研究事業：油症患者の毛髪、皮下脂肪織、皮脂中の有機塩素化合物の定量、ポルフィリン代謝異常に対する影響などを検討し、油症にみられる全身的悪影響を検討、発表している。
- ②ひふの日の公開講座の開催に協力し、啓発活動を行っている。

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
室田浩之・教授	文部科学省	代表	科学研究費(学術研究助成基金助成金)・基盤研究(C)：無汗症の病態を熱中症予防戦略の確立につなげる：革新的手法による汗腺制御様式の解明
室田浩之・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費（食品の安全確保推進研究事業（カネミ油症に関する研究））：食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究
室田浩之・教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））：稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究
室田浩之・教授	日本医療研究開発機構	分担	日本医療研究開発機構 難治性疾患実用化研究事業：ゲノム不安定性疾患群を中心とした希少難治性疾患の次世代マルチオミクス診断拠点構築
室田浩之・教授	日本医療研究開発機構	分担	日本医療研究開発機構 免疫アレルギー疾患等実用化研究事業免疫アレルギー疾患実用化研究分野：アレルギー性皮膚疾患の病態における発汗異常の解明と治療法の開発
竹中 基	サノフィ(株)	分担	医師主導臨床研究：アトピー性皮膚炎に対するデュルマ

			プの効果（有効性）を予測ためのバイオマーカの探索
鉄塚 大・講師	文部科学省	代表	科学研究費(学術研究助成基金助成金)・基盤研究(C)： エピジェネティクス（特に HDAC）がケロイド発生病態に及ぼす効果の検討
小池雄太・講師	文部科学省	代表	科学研究費(学術研究助成基金助成金)・若手B： EMT-MET理論に基づいた新しい創傷表皮再生への試み
小池雄太・講師	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費（難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)）： 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究
小池雄太・講師	ノバルティスファーマ株式会社	代表	ノバルティス研究助成（2019年度）： 特発性後天性全身性無汗症における汗腺細胞の上皮間葉移行
鉄塚さやか・助教	文部科学省	代表	科学研究費(学術研究助成基金助成金)・若手B： 皮膚感覚過敏の機序解明～脳機能評価を応用した新しい試み～
岩永 聡・助教	文部科学省	分担	科学研究費(学術研究助成基金助成金)・基盤研究(C)： エピジェネティクス（特に HDAC）がケロイド発生病態に及ぼす効果の検討
岩永 聡・助教	文部科学省	代表	科学研究費(学術研究助成基金助成金)・若手B： 弾性線維性仮性黄色腫患者における重症度および予後因子の研究
本多 舞・助教	マルホ（株）	代表	マルホ奨学寄附支援プログラム（皮膚科学領域）： 思春期アレルギーの実態調査
室田浩之・教授	マルホ株式会社		痒みの客観的評価方法の確立に向けた分析的研究

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
室田浩之・教授	乾癬の判定のための測定方法	2009年12月11日	2011年6月23日	5234666号

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
室田浩之・教授	非常勤講師（皮膚科学）	大阪大学

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
室田浩之・教授	汗－体温調節や保湿に役割	長崎新聞	2019年4月1日	汗に関する基礎知識を提供することで読者の健康に貢献した
室田浩之・教授	美と若さの新常識－カラダのヒミツ「汗の老化が美をむしばむ！」	NHK BS プレミアム	2019年5月14日	汗に関する基礎知識を提供することで読者の健康に貢献した
室田浩之・教授	週刊健康マガジン「皮膚の病気 アトピー性皮膚炎」	KTNテレビ長崎	2019年6月28日	アトピー性皮膚炎の治療に関する情報を提供することで視聴者の健康に貢献した
室田浩之・教授	「汗っかき」は3歳までに決まる？ 子どもの汗、3つの秘密	ウェザーニュース	2019年8月3日	小児の発汗機能の発達について解説した。
室田浩之・教授	健康講話「皮膚の健康に役立つスキンケアのコツ」	長崎大学余光会懇談会	2019年10月24日	スキンケアの実際を解説し皮膚の健康維持に貢献した。
室田浩之・教授	あの人この歌あぁ人生	NBC長崎放送	2019年11月11日	ありふれた皮膚疾患の症状と、長崎大学皮膚科の取り組みについて

				啓蒙を行なった。
室田浩之・教授	みんなで学ぶ皮膚の病気「日常で遭遇する皮膚のトラブルとスキンケアのコツ」	皮膚の日記念市民公開講座	2019年11月2日	ありふれた皮膚疾患の症状と、長崎大学皮膚科の取り組みについて啓蒙を行なった。
竹中 基・准教授	週刊健康マガジン「皮膚の病気 じんましん」	KTNテレビ長崎	2019年6月14日	じんましん原因、種類、治療について説明した
鉾塚 大・講師	週刊健康マガジン「皮膚の病気 日光と皮膚がん」	KTNテレビ長崎	2019年6月7日	紫外線と皮膚がんの関わりについて概説した
小池雄太・講師	週刊健康マガジン「皮膚の病気 乾癬(かんせん)」	KTNテレビ長崎	2019年6月21日	乾癬について啓蒙した

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
小池雄太・講師	第9回2019年度「鳥居・帝國乾癬研究奨励賞」学会発表部門(基礎・臨床研究)	日本乾癬学会	「生物学的製剤による乾癬患者皮膚マイコバイオーム変化の検討」

○特筆すべき事項

- ①カネミ油症の診断、治療の改善を目的とした厚生労働省の食品の安全確保推進研究事業(カネミ油症に関する研究)に参加し、下記の協力を行っている。
 - ・油症検診：昭和43年以来、毎年1回長崎県下各地での検診を行っている。
 - ・研究事業：油症患者の毛髪、皮下脂肪織、皮脂中の有機塩素化合物の定量、ポルフィリン代謝異常に対する影響などを検討し、油症にみられる全身的悪影響を検討、発表している。
- ②ひふの日の公開講座の開催に協力し、啓発活動を行っている。